

まちづくり

まちづくり、と聞いて皆さんはどんなイメージを持ちますか？

「わたしも参加したい」と肯定的なイメージを持つ人がいる反面「敷居が高そう」「わたしにはあまり関係なさそう」といった否定的なイメージを持つ人もいるのではないのでしょうか？

今回は「まちづくり」とは何か、大阪狭山市はどういうまちづくりをめざしているのか、という点にスポットを当てて特集します。



十二月七日
めあて

大阪狭山市の未来について

考えよう。

(提案案)

知

ってる？

自治基本条例

まず、未来をえがく

ぼくに、わたしに

何が

やるべきこと

できる だろう

やるべきこと

こども版ガイドブックで授業

市内の小学校では、大阪狭山市のまちづくりを考える取り組みとして、小学校の先生や、さやま未来プランナーの協力によって作成した「こども版大阪狭山市自治基本条例ガイドブック」が活用されています。



って
だらう？

子どもたちが考えるまちの未来

昨年の12月7日、西小学校の6年1組で、自治基本条例を通した授業、「大阪狭山市の未来について考えよう」が行われました。担任の石田先生は、まず、

「大阪狭山市がどんなまちになったら良いと思いますか？」とみんなに投げかけます。
子どもたちはどう考えたのでしょうか？

良いまちの未来像

- 交通事故がないまち
- ごみが落ちてなくてきれい
- 木とか花がいっぱいのまち
- 災害がないまち
- 子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで、みんなが元気なまち
- みんな仲が良い
- 体の不自由な人が暮らしやすいまち
- 地球に優しい
- 子どもがたくさんいる
- 観光客がいっぱいくるまち
- リサイクルができています
- 犯罪がないまち

いろんな人の意見を聞きながら、良いまちの未来図がイメージできてきた子どもたち。先生はさらに問いかけます。

では、「大阪狭山市がみんなの想い描いたような良いまちになるために、**どんなことができるかな？**」

自分が描いた良いまちの未来像を実現するために、子どもたちが考えたことは何でしょうか？

まちの未来のために今やるべきこと

- ボランティア活動や清掃活動に参加する
- 自分たちで考えて行動する
- 市での活動に参加する
- ごみを拾う、水辺や道にごみを捨てない
- 困っている人がいたら声をかける
- 道案内してほしい人がいたらする
- みんなと仲良くする、協力する
- 狭山池をすき通るくらいきれいにする(ごみなどをとる)
- 笑顔で大きな声であいさつする
- 木を植えて緑を増やしていく
- 大阪狭山市の自分たちの絵をかざったりして見る



西小学校6年1組
なほし 石田直伺先生

授業を終えて……

このまちのこと、また、まちの未来を考える良い機会になりました。「まちづくり」についても、自分たちの普段の何げない行動も、まちづくりにつながっているんだということに、クラスのみんなも気づけたのがとても良かったです。

大阪狭山市がめざす、まちづくりとは？



大阪狭山市は市民が主体のまちづくりを進めています。

そのために、自治基本条例があります。

市民主体のまちづくりを進めるためには、お互いの立場や考えを認め合い、合意に向けて対話を重ねることが重要であり、そこで生まれた人と人のつながりが、市民力、地域力となってまちづくりを進めていく原動力になると考えています。

このまちを、次世代に引き継いでいくために、市民・議会・市がそれぞれまちづくりの担い手であることを自覚し、だれもが主体的にまちづくりに参画し、協働するまちづくりの確立をめざして、自治基本条例を定めています。

大阪狭山市自治基本条例には、4つの基本原則があります。

TOWN PLANNING

人権の尊重

市民、議会、市は、市民一人ひとりの人権を尊重します。

情報の共有

まちづくりを推進するうえで必要な市政に関する情報を市民、議会、市で共有します。

協働

市民、議会、市は、お互いを尊重し、共通の目的を達成するために、協力し合うことでより良いまちづくりを推進します。

市民参画

市は市民参画制度の整備に努めることで、市民の参画を保障します。

市民、議会、市の役割は？

議会

- 市民の意思を市政に反映
- 政策を立案
- 議会情報や市政の状況を説明

市

- 公正かつ誠実な市政運営
- 市政情報の公開
- 説明責任と応答責任

市民

- 市民とは・・・
- ①市内に住んでいる人
 - ②市内の事業所などで働いている人
 - ③市内の学校などで学んでいる人
 - ④市内で事業活動などを行っている人や団体

- 市政に関する情報を知る権利
- まちづくりに参画する権利
- 協力し、まちづくりを推進
- 地域のコミュニティ活動への参加

自然を保護する活動をする

住民投票に参加する

地域で支え合う活動をする

ごみの減量、再資源化に協力する

地域の子どもたちの通学を見守る

市の広報誌やホームページ、SNSを見る

パブリックコメントを提出する

まちづくり大学に参加する

自治会・地区会の活動をする

これらは、まちづくりに参画する主なものの一例です。
皆さんも自分でできることから、まちづくりに参画しましょう。



まちづくりに参画する方法は？